

令和3年度人権ポスター・標語・作文



中島小6年 三好 沙樹 さん



倉敷第一中3年 白神 梨奈 さん

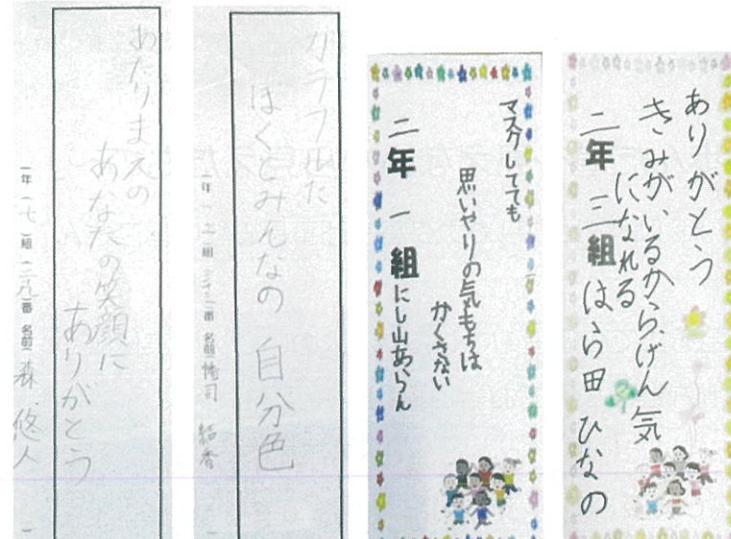


連島北小4年 東 綾乃 さん



西阿知小6年 砂口 鳥大 さん

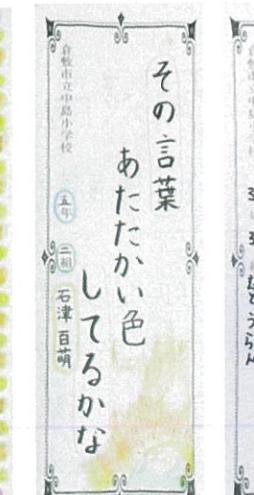
中島小6年	難波 詩乃さん	«男女差別のない社会にしていくためには»
西阿知小4年	野口 埼愛さん	«わたしが知らなかった「障がい」»
連島北小5年	佐藤 弥子さん	«地球のみんなが幸せに過ごせるには»
倉敷第一中2年	岩間 奈津美さん	«学校に行けない子どもたちのために»
倉敷第一中2年	小林 菜乃さん	«人種差別のない世界へ»



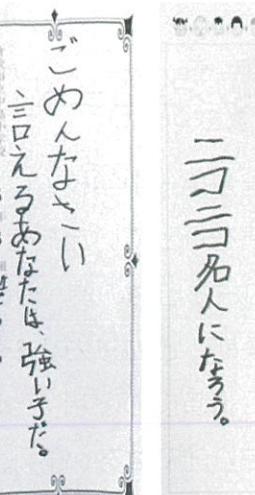
倉敷第一中1年
森 悠人さん

倉敷第一中1年
幡司 結香さん

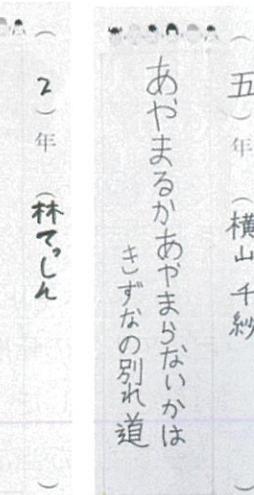
西阿知小2年
西山 天嵐さん



西阿知小2年
原田 陽望さん



中島小5年
原田 陽望さん



中島小3年
近藤 蘭さん



連島北小2年
林 徹真さん



連島北小5年



横山 千紗さん

発行日 令和4年2月
発行 倉敷第一中学校区人権学習推進委員会
事務局 倉敷市西阿知公民館
TEL/FAX 086-465-0836

43号 あい愛

1/16(日) ふれあい人権発表会

新型コロナウイルス感染症の流行と対策のため昨年度は開催できなかったふれあい人権発表会ですが、今年度は皆様のご理解とご協力により、予防と時間短縮に努めながら実行することができました。

児童生徒は、障がい、貧困、性、人種、コミュニケーション、個性等の課題解決に向けて、瑞々しい感性と豊かな発想力、様々な表現方法で、多くの提案をしてください、大人たちにもよい研修の機会となりました。

後半は、市防災推進課の職員をお招きして、水害や地震など、倉敷第一中学校区に想定される災害について最新の知識と情報をうかがい、地域の人命を守ることの大切さ・尊さについて研修しました。

広報紙「あい愛」は、町内会の皆さまのご協力で倉敷第一中学校区全戸に配布しています。

11/22
(月)

西阿知幼稚園

「感謝の会」

勤労感謝の日にちなんで、警察の方に感謝の気持ちを伝えるために警察の仕事について質問したり、プレゼントを渡したり、パトカーを見せてもらったりしました。

子どもたちは、感謝の会を通して、警察の仕事に興味をもったり、憧れの気持ちを抱いたりする様子が見られました。

また、パトカーを見せていただいたり、一緒に写真を撮っていただいたりしたときに、子どもたちの笑顔を見て、警察の方も喜んでくださっていました。

日頃お世話になっていても直接触れ合うことの少ない警察の方に来ていただき、感謝の会をすることことができたことは大変有意義だったと思います。この会に向けていろいろな仕事について話題にしてきたことで、身近にお世話になっている人に興味をもったり、感謝の気持ちをもったりすることができました。

7/7
(水)

中島幼稚園

「七夕祭り」

7月7日（水）に新型コロナウイルス感染防止対策を行って、七夕祭り会を実施することができました。

前日までに、いろいろなかざりや願いごとを書いた短冊、星のお面などを作りました。そして、親子で笹にかざりや短冊をつけました。みんなで力を合わせてきれいな七夕かざりができあがりました。

紙芝居を見たりゼリーを食べたりして、楽しく過ごしました。

☆ 園児の主な願い事 ☆

- ・おいしいおかしをいっぱいいたべたい
- ・はやくはしれるようになりたい
- ・じょうずにじがかけるようになりたい
- ・コロナがはやくおさまりますように
- ・おじいちゃん、おばあちゃんにはやくあえますように



西阿知小学校

「お互いの良いところを見つけて広がる世界」

本校では、春と秋の2回、校内人権週間を設け、人権について考えたり、互いの良さを見つけ合ったりする取組をしています。

秋の人権週間では、「ふわふわ言葉をつめこんだ西阿知花火を打ち上げよう」のテーマの下、「なかよしの木」に取り組みました。友達の良いところや感謝の気持ちを書いた木の実（メッセージカード）を贈り合い、なかよしの木に飾りました。飾られたメッセージカードを見ているだけで、不思議と温かい気持ちになります。

児童も、「なかよしの木」の前で立ち止まり、笑みを浮かべながら幸せそうにじっと眺めていました。

コロナ禍で児童同士が関わることができにくい状況の中、このような取組が児童の心と心をつなぎ、大きな友情の輪を作ってくれればと思います。

11/1
(月)

連島北小学校

「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」

11月1日、連島北小学校 PTA 人権教育講演会が開かれました。講師は竹内昌彦先生です。「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」という演題で先生の半生をうかがうことができました。

参加した児童・保護者の感想を紹介します。

～児童の感想より～

- 心に残ったことは、生きているだけでいいということです。今、普通にしていることが、死んでしまったらできなくなるということが分かった。これからは嫌なことがあっても、前向きに生きたい。
- 今自分は幸せだなと思った。この生活が当たり前ではなかったということに気付いた。
- 今まで地域の人に恵まれているという自覚がなかった。いろんなことに感謝できるのはすごいことだと思う。



～保護者の感想より～

- お話を聴いて、子どもたちに伝えたいことがたくさんあります。たくさん勉強して立派な大人になること、自分の時間を使っても人のために役立てようとしていること、人は見た目ではないこと。お話を聴けてよかったです。



中島小学校

「中島なかよし郵便」

中島小学校では、年に2回の校内人権週間「なかよし週間」を実施しています。取組の一つとして「中島なかよし郵便」を行いました。校内に郵便ポストを設け、異学年の児童であたたかいメッセージのやりとりをしました。自分宛てに届いたはがきを読んでは顔をほころばせ、自分を大事に思ってくれる相手がいることを実感することができました。

また、毎朝、横断歩道や校門に地域の方や職員が立ち、登校してくる児童を迎えています。一人ひとりと気持ちのよい挨拶を交わすることで、さわやかな気持ちで一日をスタートさせることができます。

コロナ渦で、多くの対面での交流活動が制限される中、このような取組を通して、お互いのよさを認め合うとともに、自分のことを大切に思ってくれる人の存在を実感することができました。

11/14
(日)

倉敷第一中学校

「私の歩んだ道～見えないから見えたもの～」

令和3年度、倉敷第一中学校では PTA 人権講演会で認定 NPO ヒカリカナタ基金理事長の竹内昌彦さんをお招きし、講演を行っていただきました。

講演では、竹内さん自身の幼少期から今現在の活動に至るまでの過程の中から、本人のいじめの実体験や自分の人生の転換期、ヒカリカナタ基金での海外での活動などについてお話しいただきました。講演後の感想では、「自分の命を大切に使いたい」

「今の状況が当たり前ではない」「障がいをもった人へ優しく接していくたい」など、障がいをもった方への心遣いや自分の生き方の見直しなど、前向きな感想が多くみられました。今後の人権教育を行っていくうえでもよい講演会になりました。

